



市には、進むべき方向性を示す羅針盤のような役割を持つ「北上市総合計画」という重要な計画があります。この計画を構成するひとつに、分野ごとの基本的方向性を定める「基本計画」があり、同調査では、これを**施策**と呼んでいます。

基本計画(施策)は、「子育て環境の充実」、「魅力ある地域づくりの推進」など全部で27の項目がありますが、調査では、市民の皆さんに分かりやすいように一部を細分化し、31の施策について伺いました。

「市が行っている施策」とは？

市民意識調査の結果を公表！

同調査は、市が行っている施策に対する市民の満足度と、力を入れている施策の重要度を把握し、今後の方向性を検討する基礎資料として活用しています。また、行政評価や事業企画などに活用し、行政サービスの改善につなげていきます。

調査は2年に一度実施し、今回で7回目です。

問い合わせ 政策企画課 ☎72-8229

調査の概要

対象…市内に居住する18歳以上の男女1,300人
 方法…設問法によるアンケート調査(無記名)
 期間…30年8月24日～9月17日
 内容…回答者の属性、市政に対する総合的な満足度、施策ごとの満足度・重要度・優先度、施策の成果指標として定点観測する項目(31項目)
 回収結果…有効回収率52.0%(676件)
 ※前回40.2%

あじさい都市の実現に一步一步前進！

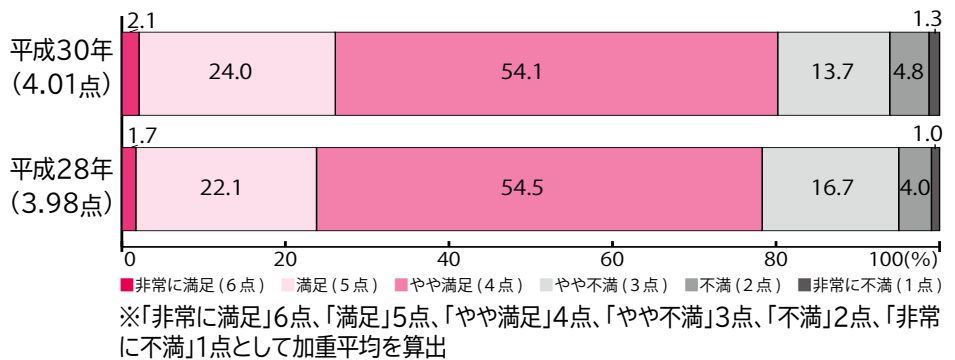
「総合満足度」が上昇する一方で世代・職種間に意識の差も…

■市政全般に関する総合満足度

市政全般に関する総合満足度は、平均4.01点(6点満点)となっており、前回調査(平成28年)の3.98点を上回り、回答者の8割が「やや満足」以上と回答しています(図①)。

前回から上昇した属性は、年齢別では「40歳代」、職業別では「農林水産業」や「会社員」となっています。一方、「18・19歳」の若い世代や「70歳以上」の高齢世代、「パート・アルバイト」などが下降しており(図②)、世代や職種によって意識に差が生じる結果となりました。

図① 全体の結果



図② 年代・職業別の平均満足度(6点満点)

年代	平成30年	平成28年	変動
18・19歳	4.36	4.60	↓ダウン
20歳代	3.80	3.79	↑アップ
30歳代	3.88	3.81	↑アップ
40歳代	4.10	3.82	↑アップ
50歳代	3.90	3.83	↑アップ
60歳代	4.04	4.11	↓ダウン
70歳以上	4.17	4.20	↓ダウン

職業	平成30年	平成28年	変動
農林水産業	4.16	3.84	↑アップ
自営業	4.03	4.03	—
会社員	4.01	3.77	↑アップ
パート・アルバイト	3.77	3.84	↓ダウン
公務・団体職員	4.28	3.97	↑アップ
家事従事者	3.98	4.06	↓ダウン
学生	4.24	4.25	↓ダウン
無職	4.06	4.16	↓ダウン

「満足度」はハード面の施策に明暗。
「重要度」は上位・下位共に
前回と同様の施策が並ぶ結果に。

■施策ごとの「満足度」・「重要度」

31の施策別の満足度・重要度では、上位・下位3つが図のようになっています。

満足度では、生活インフラに関する施策である「上下水道」が最も高くなっている一方で、同様の施策分野である「道路環境」「公共交通」の満足度が低くなっています(図③)。

重要度では、これまで同様に「子育て環境」や「高齢者・障がい者」といった福祉分野が上位に位置する一方で、「市民主体のまちづくり」「市民・企業・行政の協働」といった多様な主体の連携によるまちづくりへの重要度が低くなっています(図④)。

※平均満足度は「非常に満足」6点、「満足」5点、「やや満足」4点、「やや不満」3点、「不満」2点、「非常に不満」1点として加重平均を算出

※平均重要度は「非常に重要」6点、「重要」5点、「やや重要」4点、「あまり重要でない」3点、「重要でない」2点、「全く重要でない」1点として加重平均を算出

図③ 平均満足度(6点満点)と順位(上位・下位)

順位	上位		下位	
1位	上下水道	4.18	道路環境	3.48
2位	広域行政	4.12	公共交通	3.51
3位	芸術文化 国際交流	4.11	シティプロ モーション	3.72

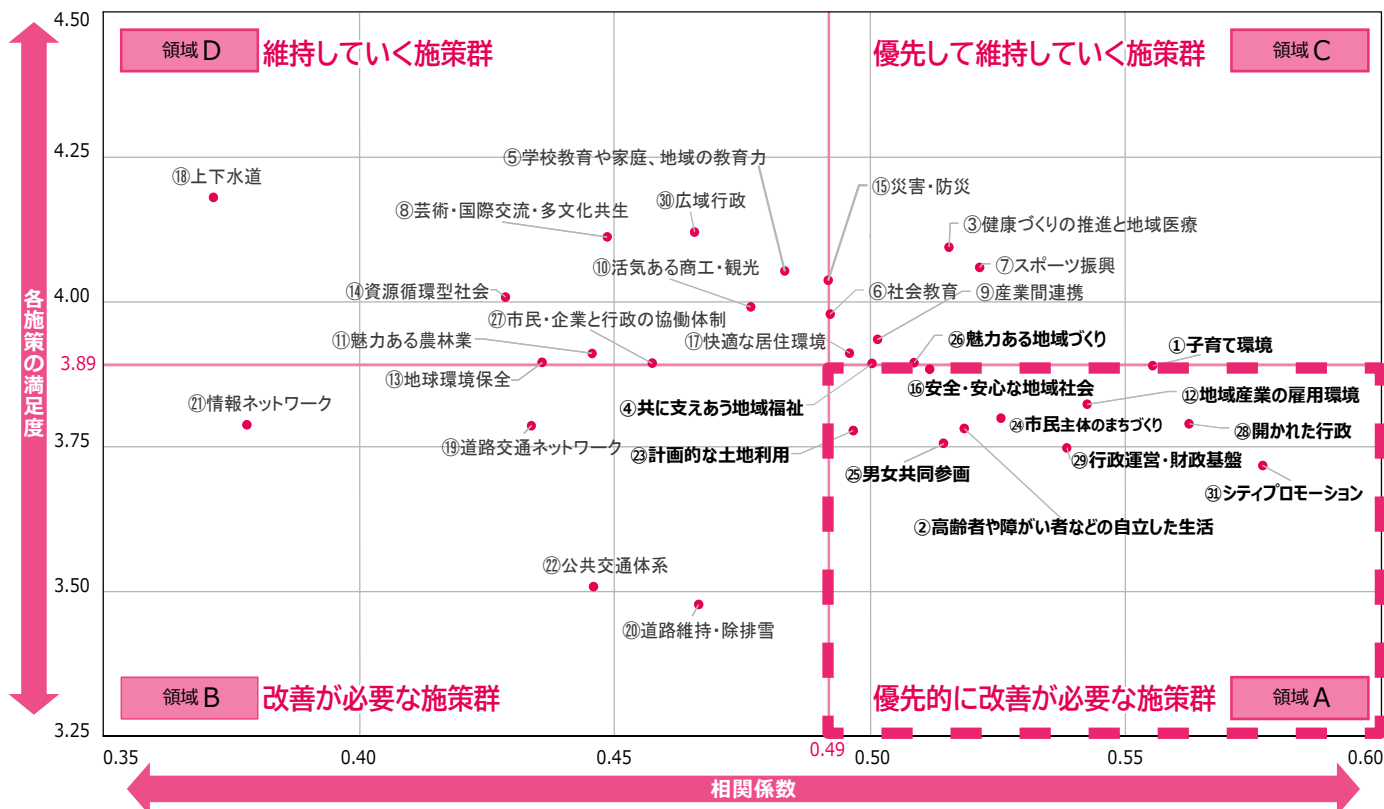
図④ 平均重要度(6点満点)と順位(上位・下位)

順位	上位		下位	
1位	子育て環境	5.24	多様な主体 の協働	4.03
2位	高齢者 障がい者	5.09	情報ネット ワーク	4.11
3位	道路環境	5.09	市民主体の まちづくり	4.24

■施策改善のための分析

今回の調査では、各施策の満足度が総合満足度に与える影響を分析し、施策を下図の4領域に分類しました。

※相関係数…各施策の満足度が総合満足度に与える影響の強弱を示すもので、1.0に近いほど総合満足度に与える影響が強くなります。



満足度向上の鍵は「協働」?

領域Aに分類される施策群は総合満足度に与える影響が強く、満足度も低いため、この領域に含まれる施策の満足度向上が市民総合満足度の底上げに、より影響を与えると考えられます。「福祉」や「産業」、「行政内部」に関する施策のほかに、「シティプロモーション」、「市民主体のまちづくり」といった施策が含まれ、市民の愛着や誇りを醸成する取り組みや市民が主役となり多様な主体と協働するまちづくりの重要性が浮き彫りになりました。